

写真に収められた旭の名シーン

第1回旭の風景写真コンテスト表彰式

県内外に、市の豊かな自然や歴史ある文化などを広くPRすることを目的に行われた旭の風景写真コンテストの表彰式が3月20日、東総文化会館で行われました。市内のさまざまな名所・旧跡、イベントなど254点の作品が市内外から応募され、その中から、えりすぐられた30点が入賞作品として表彰されました。

また、同日から4月18日まで、東総文化会館を会場に入賞作品展が開催され、訪れた人たちは、会場に飾られた秀逸な作品を食い入るように見ていました。なお、4月21日から5月6日まで、まちかどギャラリー「銀座」

でも作品展が行われます。特別賞の受賞者は次のとおりです（敬称略）。
旭市長賞／平山繁幸 旭市議会議長賞／平野高資 旭市観光協会会長賞／磯部博之 飯岡観光協会会長賞／萩谷和夫 旭市商工会長賞／伊藤徹威



▲旭市長賞を受賞した平山さん

卒業した先輩からのエール

地域産業の担い手育成プロジェクト・農家講演会



▲先輩である講師の熱弁を聞く生徒たち

農業後継者の育成および農業教育の充実を図るために、旭農業高等学校で3月15日、同高出身で現在農業を行っている2人を講師として招き、講演会が開かれました。

講師は、農業を始める時のことや苦労したこと、就農して新たに始めたことなどについて話をすると、参加した畜産科と生産技術科の1、2年生21人は、興味深そうに聞きながらメモを取っていました。質疑応答では、生徒から「将来農業をやっていくために、どのような準備したらいいですか?」「高校生時代にやっておくべきことは?」など、積極的に質問が出ていました。最後に講師は「これから農業をやりたいと思っている人は、仲間を大切に頑張ってください」と後輩たちにエールを送りました。

最高齢95歳も元気にプレー

食彩の宿いおかゲートボール親善大会

参加者の交流と健康増進を図ろうと、3月2日、3日に食彩の宿いおかでゲートボール大会が開かれ、72歳から95歳の市民48人がその腕前を競いました。二日間で行われたこの大会、参加者のおよそ半数が食彩の宿いおかに宿泊し、食事と風呂も堪能。交流を深めたこの大会を制したのは、しろがねクラブでした。



▲市内愛好家が腕前を競う

地域の協力で犯罪を未然防止

第7回防犯講演会

「自分たちのまちは、自分たちで守ろう」をスローガンに防犯活動を行っている旭市エンジョイパトロール隊が2月20日、日ごろの活動報告と犯罪の未然防止を図るため、市民会館で防犯講演会を行いました。来賓の司関旭警察署長が「犯罪を抑止するためには、市民一人ひとりが防犯意識を持つことが大切です」とあいさつ。防犯講演では、旭警察署の石橋生活安全課長が犯罪に遭わないために心掛けることや防犯対策などについて、実例を挙げながら講演しました。参加した地域住民約100人は、犯罪を減らそうと真剣に話を聞いていました。



▲スクリーンを使って防犯対策の説明を受ける参加者たち

市内外のチームが白熱した戦い

旭市ミニバスケットボール交流大会

旭市スポーツ少年団が主催したミニバスケットボール大会が2月6日、7日、古城小学校で行われ、市内から参加した男女5チームを含む、男子8チーム、女子10チームが熱戦を繰り広げました。ベンチや応援席からの声援が会場に響く中、選手は攻守に素早い動きを見せていました。



▲ジャンプボールで競り合う選手たち

学びのコミュニティ築く

3 S 活動報告会

市内の小、中、高校生が行う社会貢献活動を市民らが会費を募り資金面で支援する旭3 S (Asahi Support for Students)。その活動報告会が3月6日、東総文化会館小ホールで開催されました。会場では、発表者の同級生や学校の先生、市民など200人が、発表された八つの活動報告に熱心に耳を傾け、一つ一つの発表が終わるたび、積極的に質問や感想を述べていました。講評を行った千葉大学の上杉賢士教授は、「自分の考えをまとめ発表する力は、これからの時代とても必要な力、それには考えを聞いてくれる人が必要です。この会では、その学びのコミュニティが築けて、とてもうれしいです」と話していました。

【報告された活動】

富浦小4年「人と地球と自分に優しくしよう!」、同小



◀富浦小4年生の発表

5年「ふれあいボランティア」、二中3年「見えない…危険!!」、同中ボランティア部「交通安全 Are You OK?」、同中演劇部「小さな子に物語を…」、干潟小「地域と交流『夢』を演じて」、海上中「クリーン&グリーン作戦in海上」、東総工業高校「恥ずかしさを隠していた今までの自分にさようなら」

大きなひな飾りの出来上がり!

保育所ひな祭り会

年中行事である桃の節句を祝おうと3月3日、市内の保育所でひな祭り会が行われました。

まんざい保育所では、園児全員が色紙で作った衣装を身にまとい、お内裏さまとおひなさまに変身!大きなひな飾りができました。また三川保育所では、おじいちゃん、おばあちゃんを迎えて、歌や遊戯を披露したり、一緒に手遊びを楽しんだりしていました。



▲まんざい保育所

建設業協力会と災害協定を締結

災害時応急工事等に関する協定書

災害発生時など、市が管理する道路や施設などの機能を確保するため3月18日、市内32社が加盟する旭市建設業災害対策協力会と市が「災害時応急工事等に関する協定書」を締結しました。市だけでは対応しきれない工事などでも、要請で迅速に対応することができます。



小 学生が保安林に植樹

旭市保安林記念植樹会



◀楽しそうに植樹する児童

海岸からの砂や風の被害を防ぐ保安林を維持しようと2月24日、豊畑小の3、4年生79人が神宮寺浜の保安林に黒松の苗を植えました。

子どもたちは、用意された650本の黒松の苗を一人7、8本ずつ割り当てられると、等間隔に掘られた穴の中に松の苗を入れ、一本一本丁寧に砂をかぶせていきました。植樹を終えた子どもたちは、「割り当てより多く植えちゃった」「時々様子を見にきたいです」など笑顔で話していました。

地域の平穏願い神楽を奉納

家内安全と豊年万作を願う熊野神社の春の例大祭が3月21日行われ、伝統の神楽が奉納されました。神楽殿では、



◀演目の最後を飾る七五三切

猿田彦など13の演目や華やかな衣装を身にまとった稚児舞が披露され、訪れた人たちは、囃子の音色に合わせた伝統的な舞を熱心に見入ったり、写真に撮ったりしていました。